

項目の説明

- (1) 建築物の名称
 - ・建物所有者からの報告に基づく建物名称を記載しています。
 - ・エキスパンションジョイント等で構造上分離されている場合は棟毎に名称を記載しています。
- (2) 建築物の位置
 - ・建築物が位置する地番を記載しています。
- (3) 建築物の主たる用途
 - ・要緊急安全確認大規模建築物として該当する用途を記載しています。
- (4) 耐震診断の方法（附表の略称）
 - ・附表に記載している耐震診断方法の略称を記載しています。
- (5) 構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価
 - ・下記 a～c に該当する場合は個別に結果を記載しています。(b、c の場合は備考欄に分類を記載)
 - a. エクスパンションジョイント等で構造上分離されている場合
 - b. 構造上一体であるが部分別（ゾーニング）に耐震診断を行っている場合
(全体、ゾーニング両方の耐震診断を行っている場合はそのうちの最小値を記載)
 - c. 構造上一体であるが異なる構造方法（診断方法）が用いられている場合
- ① 現状
 - ・報告された耐震診断の結果です。(各数値については塔屋等を除く各階各方向のうち最小値を記載)
 - ・ I_s ：構造耐震指標です。
 - ・ $C_{tu} \cdot SD$ ：終局時累積強度指標に形状指標を乗じたものです。(附表の略称 RC2001 による場合)
 - ・ $CT \cdot SD$ ：累積強度指標に形状指標を乗じたものです。(附表の略称 RC1990 による場合)
 - ・ q ：保有水平耐力に係る指標です。(附表の略称 S による場合)
- ② 目標
 - ・ I_{so} ：構造耐震判定指標です。(RC 造の目標値。S 造の場合は目標となる I_s を記載)
 - ・用途等に応じて、目標値を割増している場合は割増後の数値を記載しています。(例： $I_{so}=0.7$)
- ③ 基準上最低限必要な指標
 - ・ $I_{so}=0.6$ 等基準上最低限必要な指標に対する結果を示しており、目標値の割増は考慮していません。
- (6) 耐震改修等の予定（内容、実施時期）
 - ・建物所有者からの報告に基づき記載しています。
- (7) 備考
 - ・(5) について、特記する必要がある場合は記載しています。

※用語の説明：RC（鉄筋コンクリート）、S（鉄骨）